

ひこう えもんばしかまあと 大衡村 彦右工門橋窯跡

発掘調査現地説明会を開催します

— 謎だった古代大崎地域の役所・寺院を飾った瓦生産地を発見 —

日時 令和元年11月10日（日）10時30分から
（事前申し込み不要・小雨決行）

会場 彦右工門橋窯跡発掘調査現場
大衡村大衡萱刈場（別紙地図参照）

彦右工門橋窯跡は、大衡村萱刈場に所在する約1200年前の奈良～平安時代に土器や瓦を焼いた窯跡です。

今回、国道4号線拡幅工事に先だって実施した発掘調査で、窯で焼かれた瓦や多量の須恵器（硬く焼き締めた土器）が発見されました。特に瓦は、大崎地域の古代の役所・寺院跡でみつかった瓦と同じ文様のものが出土し、これまで未発見だった瓦生産地がここ彦右工門橋窯跡だったことが初めてわかりました。古代陸奥国の瓦生産と流通の仕組みを明らかにする貴重な発見です。

※説明会では田んぼの中や畦道を歩きますので、歩きやすい靴でお越し下さい。



■主催：宮城県教育庁文化財課

■お問い合わせ：文化財課埋蔵文化財第一班（電話 022-211-3684）

彦右工門橋窯跡調査担当（電話 090-8252-3644）